



～お役立ちWebサイト～

MS&AD MS&ADインターリスク総研

スイサーチ

水災リスク情報 一括確認システム

このようなことでお困りではありませんか？



台風などによる水災発生が予想される時、帰宅指示や営業停止、設備などの
安全措置を早期に講じる必要があるが……

- ・ 何を根拠に判断すれば良いかわからない！
- ・ 判断に使える情報の集め方がわからない！
- ・ 拠点がたくさんありすぎて情報を集められない！

そんな時は…



スイサーチ

の利用を検討下さい！

WEBサイトにより、以下対応が「ワンストップ」で可能

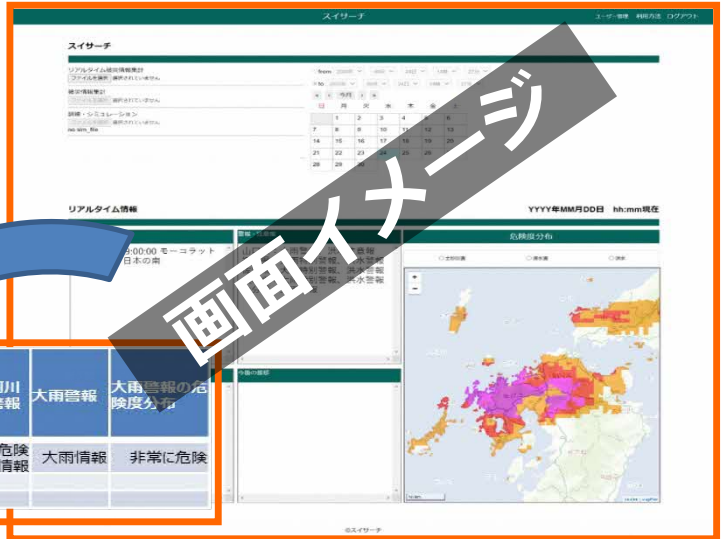
- ★ 対応・判断に必要な**気象情報**を「リアルタイム」でキャッチ！
- ★ 住所情報と気象情報をマッチングのうえ、**対応・判断のタイミング**を「自動判定」！（しかも「複数拠点」を同時判定）



どのようなサイトなの？

リアルタイムで、気象庁から発令された情報をキャッチ！

- 台風情報
- 各種注意報・警報
- 各種危険度分布情報 等



拠点	住所	ステージ判定	台風情報 (暴風域に入っている)	台風情報 (3時間以内に暴風域に入る確率)	洪水情報	水警報の危険度分布	指定河川 洪水警報	大雨情報	大雨警報の危険度分布	
A	**	ステージ3	該当する		89	洪水警報	非常に危険	氾濫危険情報	大雨情報	非常に危険
B										
C										

※システムからCSV形式のデータで、拠点毎の「警戒ステージ」情報や警報発令状況が出力されます。

拠点ごとの「警戒ステージ」を判定！

台風情報等をもとに帰宅指示や営業停止などの判断を助ける「警戒ステージ」情報を提供します。

保険には、未来を変えるチカラがある。

事故発生前 予防

- 事故・災害を未然に防ぐ

事故発生時 補償

- お客さまのシーンに合った補償を提供

事故発生後 リカバリー

- 回復を支援する



便利なポイントは？

スイサーチでは、「警戒ステージ」で全拠点分の事態の深刻度を
確認できます！

事態の深刻度（水災被害の発生する可能性が高まっている拠点）を
早期に確認できると、タイムライン防災の考え方に基づいた対応
（拠点ごとの適切なタイミングでの避難指示や業務の停止判断など）が
可能となります。

3つの機能で水災対応力アップ！

リアルタイム 被災情報集計機能

リアルタイムで
拠点の事態の
深刻度を確認！



緊急時の判断に！

被災情報集計機能

指定した期間での拠
点の最も深刻な
判定結果を抽出！



復旧拠点の
優先順位付けに！

訓練機能

過去の水災時
(2019年台風19号
令和2年7月豪雨)の
拠点の判定結果を
確認！



平時の
水災訓練に！

**スイサーチは、
企業の水災BCPやタイムライン防災に活用できます！**

>紹介元：三井住友海上代理店

>三井住友海上オフィシャルHP

<https://www.ms-ins.com/solution/>
(補償前後のソリューション～提供価値の変革～)

こちらから
アクセス
できます



>ソリューション提供元

MS&ADインターリスク総研株式会社
<https://www.irric.co.jp/>

*MS&ADグループにおいてリスク関連サービス事業の
中核を担っています。

本ソリューションは三井住友海上のご契約者さまに限らず、すべてのお客さまにご利用いただけます。

三井住友海上および代理店は、プライバシーポリシーに則り、個人情報を適正に取り扱います。
本ソリューションにかかる契約に関連してソリューション提供元が取得したお客さまの個人情報を、
お客さまの同意に基づき提供を受け、三井住友海上および代理店が取り扱う他のソリューションや
商品（損害保険等）の案内、提供等に利用することがあります。取得する個人情報は、三井住友海上の
委託先の米国に所在するサーバへ保存されます。



発災時拠点震度チェッカー

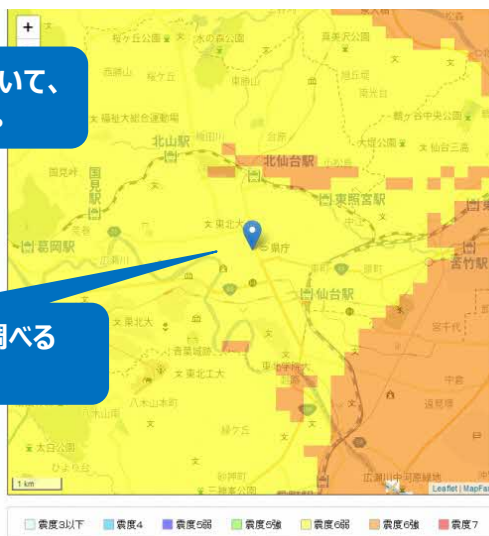
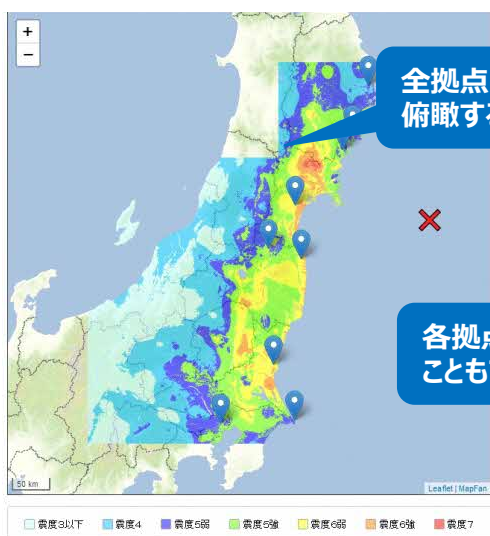
どのようなWebサイトなの？

日本国内で「震度5弱」以上の地震が発生した際に、自社の拠点やサプライヤー拠点等、把握したい拠点の「震度情報」を素早く確認することができるWebサイトです。

あらかじめ準備をした拠点の住所情報（CSV形式）をWebサイトに読み込ませるだけで、**①震度分布図に拠点の位置情報がマッピングされた情報**と、**②拠点ごとに一覧化された震度データ情報**を素早く入手できます。

また、一度の作業で最大300拠点の情報を同時に入手できる点もポイントです。

得られる情報① 震度分布図に拠点の位置情報をマッピング



得られる情報② 拠点ごとに震度データ情報を一覧化

拠点名	住所	緯度	経度	震度
本社	千代田区……………	35.69……………	139.76……………	震度5弱
○支店	福島市五……………	37.76……………	140.47……………	震度5強
×支店	南相馬市原……………	37.62……………	140.95……………	震度6弱
▽営業所	宮城県仙台市……………	38.26……………	140.86……………	震度6弱
□支店	宮城県気仙沼市……………	38.90……………	141.57……………	震度5弱
○×支店	岩手県大船渡市盛町……………	39.07……………	141.71……………	震度5強
▽支店	岩手県宮古市……………	39.64……………	141.94……………	震度5弱
▽◇支店	茨城県ひたちなか市笹……………	36.39……………	140.54……………	震度6弱

全拠点の震度情報が一覧化されます。CSV形式で保存可能です。

一度の作業で最大300拠点の①②情報を同時に入手できます

保険には、未来を変えるチカラがある。

事故発生前 予防

- 事故・災害を未然に防ぐ

事故発生時 補償

- お客さまのシーンに合った補償を提供

事故発生後 リカバリー

- 回復を支援する



どのような時に使うの？

大地震が発生した際、通信障害や相手先被災等の事情により、遠隔地の相手方から必要な情報を十分に収集できない状況が想定されます。

そのような中、少なくとも連絡が取れない相手先拠点の「震度情報」が分かれば、一定、被災状況が推測できるため、今後必要となる対応を予測したうえで、**①対応の優先順位づけ**や、**②対応の事前準備**に素早く着手できます。

発災時拠点震度チェッカーは、相手先拠点の「震度情報」をいち早くお届けすることで、上記①②対応を支援いたします。

拠点の「震度情報」がわかれば、一定、被災状況が推測可能

計測震度	非木造(半壊率)			非木造(全壊率)		
	旧築年 ~1971 (~S46)	中築年 1972~80 (S47~55)	新築年 1981~ (S56~)	旧築年 ~1971 (~S46)	中築年 1972~80 (S47~55)	新築年 1981~ (S56~)
5強	1.6%	1.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
6弱	10.8%	8.2%	2.1%	2.0%	1.7%	0.4%
6強	37.2%	30.9%	11.8%	14.5%	11.4%	3.3%
7	77.7%	71.6%	43.3%	55.6%	46.3%	20.2%

例えば、震度ごとの建物の全壊率・半壊率は公表されています。

出典：南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会（2013）「被害想定検討手法（第4回参考資料-1）」をMS&ADインターリスク総研が編集

被災状況の推測ができれば、以下のような対応が可能

①対応の優先順位づけ

B拠点の状況把握を優先しよう！

震度5弱



A拠点



震度7



B拠点

②対応の事前準備に着手

A拠点に送付する支援物資を準備しよう！



震度7



B拠点

>紹介元：三井住友海上代理店

>三井住友海上オフィシャルHP

<https://www.ms-ins.com/solution/>
 (補償前後のソリューション～提供価値の変革～)

こちらから
 アクセス
 できます



>ソリューション提供元

MS&ADインターリスク総研株式会社
<https://www.irric.co.jp/>

*MS&ADグループにおいてリスク関連サービス事業の中核を担っています。

本ソリューションは三井住友海上のご契約者さまに限らず、すべてのお客さまにご利用いただけます。

三井住友海上および代理店は、プライバシーポリシーに則り、個人情報を適正に取り扱います。本ソリューションにかかる契約に関連してソリューション提供元が取得したお客さまの個人情報を、お客さまの同意に基づき提供を受け、三井住友海上および代理店が取り扱う他のソリューションや商品（損害保険等）の案内、提供等に利用することがあります。取得する個人情報は、三井住友海上の委託先の米国に所在するサーバへ保存されます。